

第2章

－子どもの気持ち－

この章では、「三重県子ども条例に基づく調査」（子どもや保護者、県民のみなさんへのアンケート調査）の結果を中心に、「自分のことが好き」や「夢や将来の希望がある」といった子どもの自己肯定感やつらい気持ちになるときの状況などをみます。

「自分のことが好き」と答える子どもの割合は前回調査よりも高くなっていますが、高校生は依然として半数以下にとどまっています。

また、「夢や将来の希望がある」子どもの割合は、小学生では85%を超えていますが、中学生、高校生では70%前後と低くなっており、高校生は前回調査よりも低くなっています。

この「自分のことが好き」と「夢や将来の希望がある」には関係がみられません。

つらい気持ちになるのは、小学生では「友だちと仲良くできないとき」が最も多いですが、中学生や高校生では「テストの点や成績が悪いとき」が最も多くなっています。

なお、20%近くの子どものがつらい気持ちになったときに「がまんする」と答えています。

規範意識では、「人の気持ちができる人間になりたい」や「いじめはどんな理由があってもいけない」などの項目で高い意識がうかがえます。

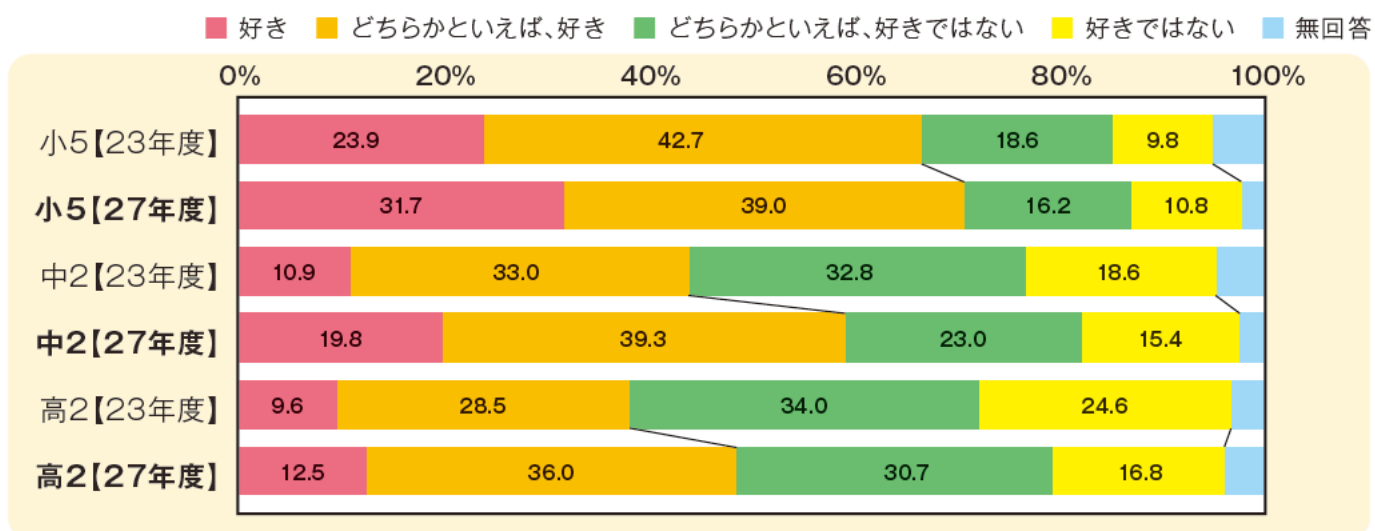
(1) 自尊意識

●自分のことが好きな子どもの割合は、子どもは自分のことが好きだと思う保護者の割合よりも低い。

「自分のことが好きですか」という質問に対して、「好き」「どちらかといえば、好き」と答えた割合は、小学生が70.7%、中学生で59.1%で、前回の調査より小学生で4.1ポイント、中学生で15.2ポイント高くなっています。自分の子どもが自分のことを好きだと「思う」「どちらかといえば、思う」保護者は、小学生の保護者で92.5%、中学生の保護者で85.0%となっており、子どもよりも高い割合になっています。また、自分のことを好きだと「思う」「どちらかといえば、思う」と答えた高校生の割合は前回の調査よりも高くなっていますが50%以下にとどまっています。

図2-1 自分のことが好きか

Q. あなたは、自分のことが好きですか。

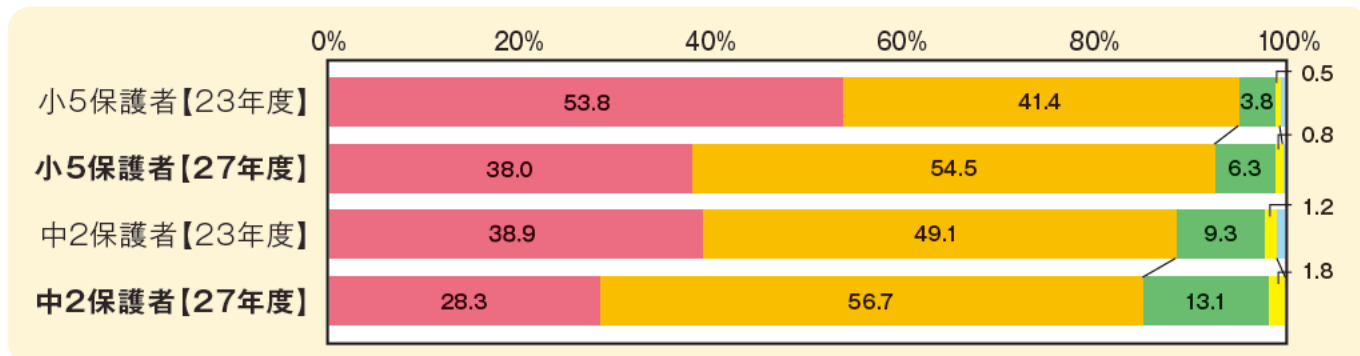


資料:「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

図2-2 大人から見た子どもの自分への意識

Q. あなたのお子さまは、「自分のことが好きだと思っている」と思いませんか。

■ 「好き」だと思う ■ 「どちらかといえば、好き」だと思う ■ 「どちらかといえば、好きではない」と思う ■ 「好きではない」と思う ■ 無回答



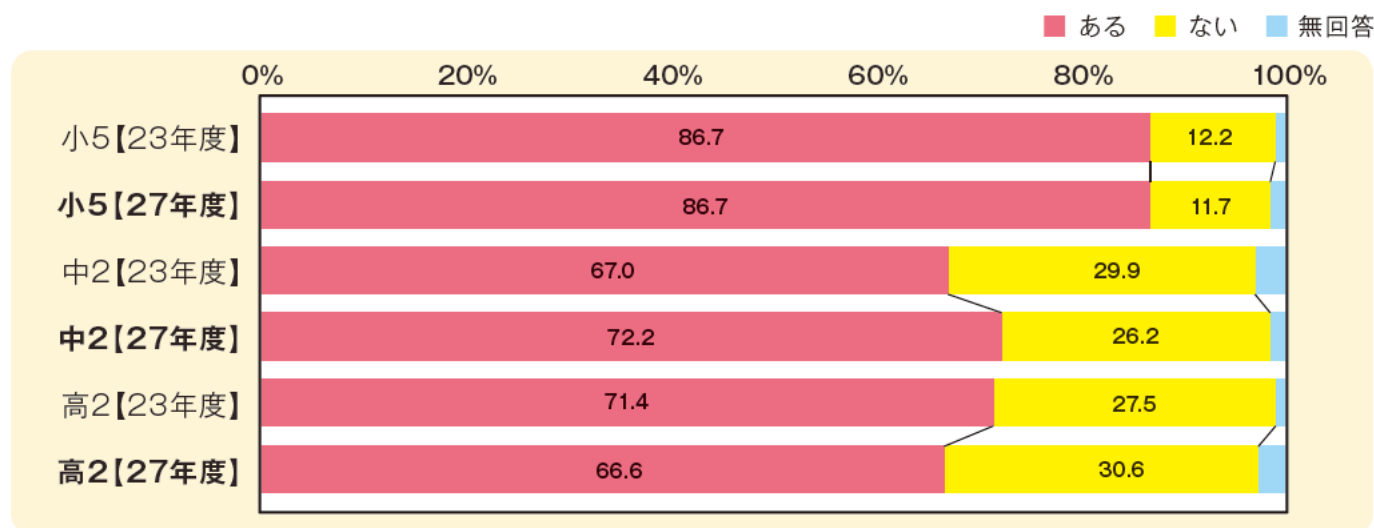
資料:「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査」

●夢や将来の希望がある小学生は85%を超え、中学生・高校生は約70%。

「夢や将来の希望がありますか」という質問に対して、「ある」と答えた割合は、小学生で86.7%、中学生で72.2%、高校生66.6%となっており、前回の調査より、小学生は変わりませんが、中学生は5.2ポイント高く、高校生は4.8ポイント低くなっています。

図2-3 夢や将来の希望

Q. あなたには、夢や将来の希望がありますか。



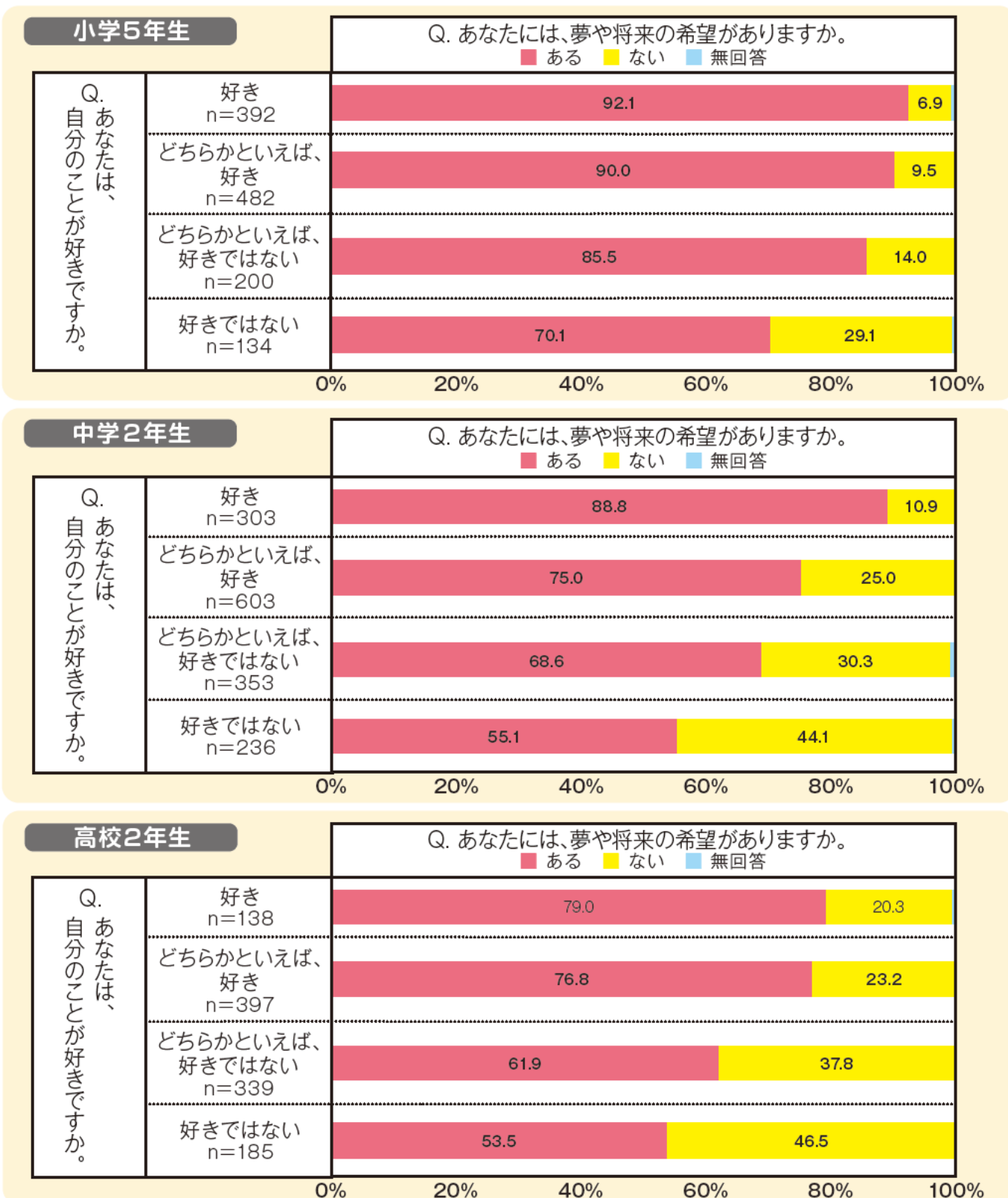
資料:「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

●自分のことが「好き」な子どもは「好きではない」子どもより「夢や将来の希望がある」割合が高い。

「自分のことが好き」と「夢や将来の希望がある」の関係を見ると、「夢や将来の希望がある」と答えた小学生の割合は、自分のことが「好き」と答えた子どもでは92.1%であるのに対し、「好きではない」と答えた子どもでは70.1%と低くなっています。

同様に、「夢や将来の希望がある」中学生の割合は、自分のことが「好き」と答えた子どもでは88.8%、「好きではない」と答えた子どもでは55.1%、高校生では、自分のことが「好き」と答えた子どもでは79.0%、「好きではない」と答えた子どもでは53.5%となっており、自分のことが「好き」と答えた子どもの方が「好きではない」と答えた子どもより「夢や将来の希望がある」割合が高くなっています。

図2-4 「自分のことが好き」と「夢や将来の希望」との関係



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

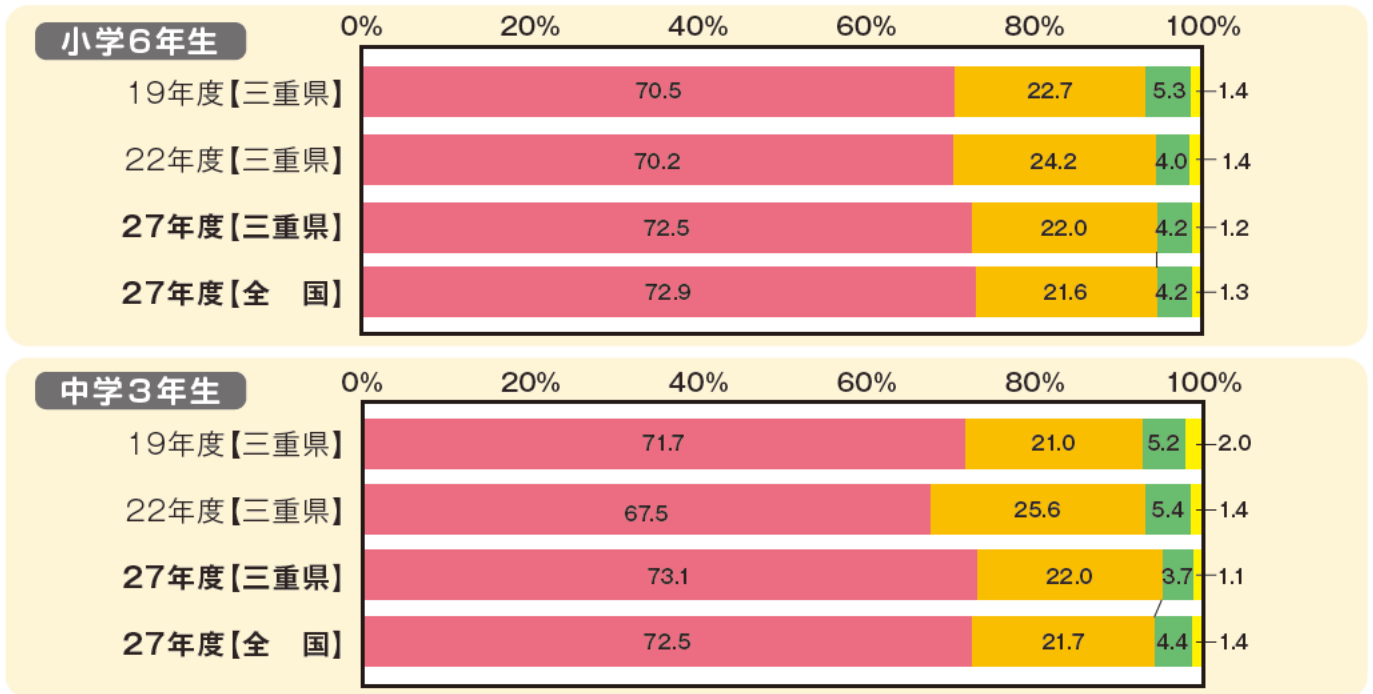
●**ものごとをやり遂げて、うれしかった経験がある子どもは90%以上。**

ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことが「ある」「どちらかといえば、ある」小学生は94.5%、中学生は95.1%となっており、ともに全国とほぼ同じです。

図2-5 達成感

Q. ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか。

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



資料:文部科学省「全国学力・学習状況調査」

●**難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している子どもは約70%。**

難しいことでも、失敗を恐れなくて「挑戦している」「どちらかといえば、挑戦している」小学生は76.6%、中学生は69.7%で、ともに22年度より高くなっています。

図2-6 挑戦することへの意識

Q. 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



資料:文部科学省「全国学力・学習状況調査」

(1) 規範意識

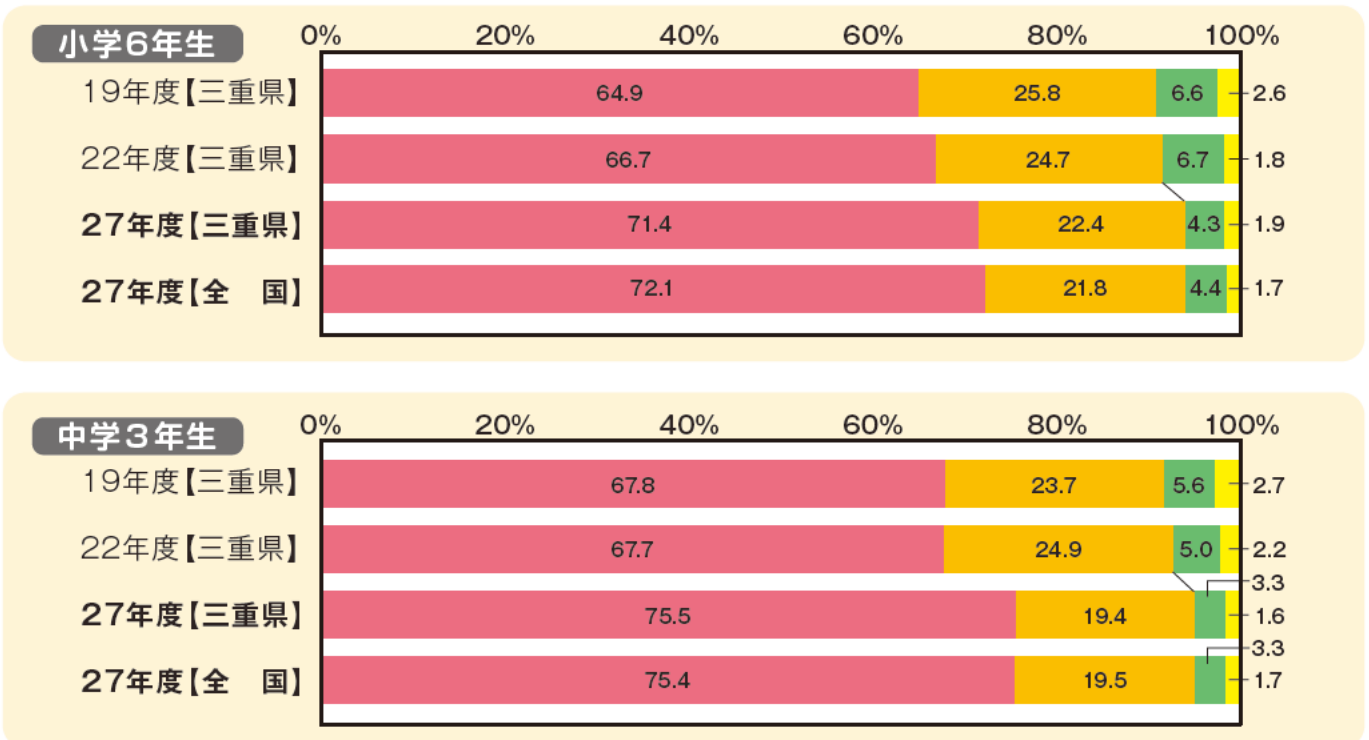
●90%以上の子どもが人の気持ちがわかる人間になりたいと思っている。

人の気持ちがわかる人間に「なりたい」「どちらかといえば、なりたい」と答えた小学生は93.8%、中学生は94.9%で、いずれも90%を超えており、22年度より高くなっています。

図2-7 人の気持ちが分かる人間になりたいか

Q. 人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか。

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



資料:文部科学省「全国学力・学習状況調査」

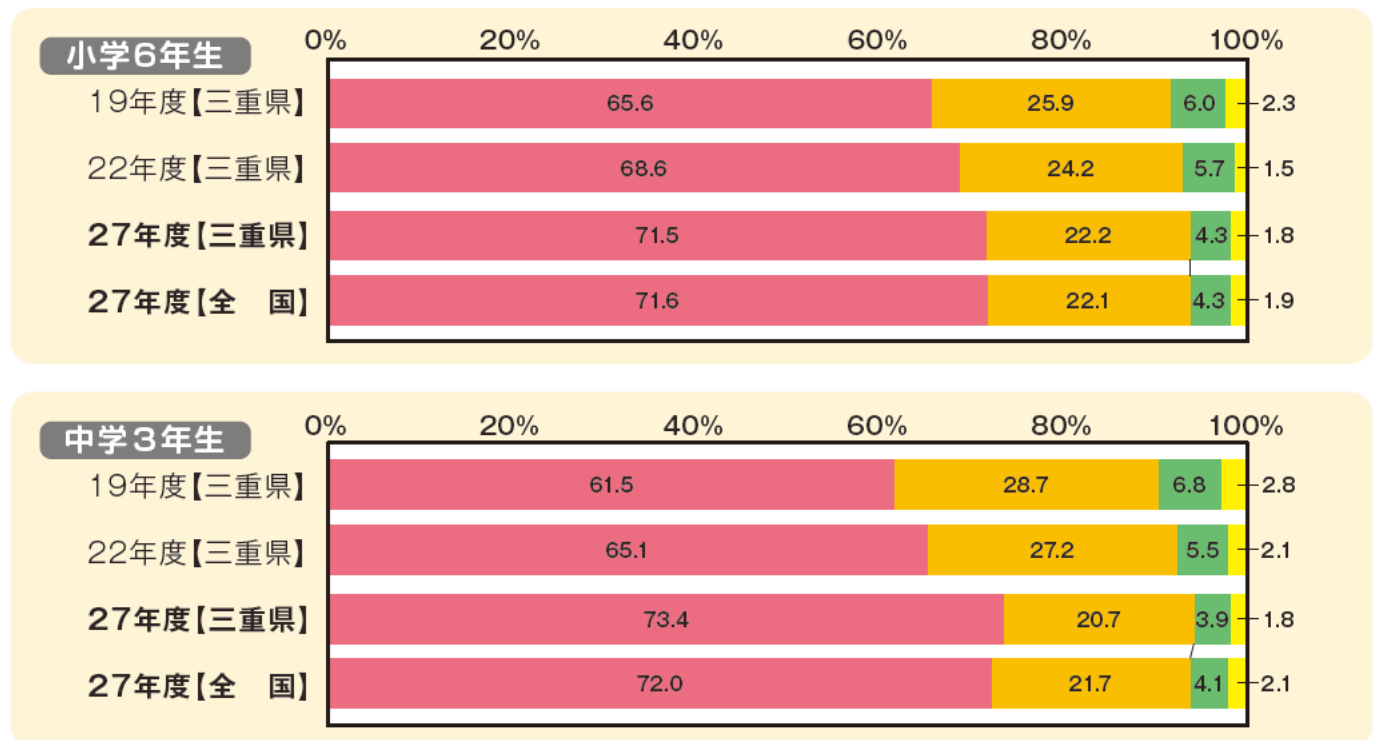
●90%以上の子どもが人の役に立つ人間になりたいと思っている。

人の役に立つ人間に「なりたい」「どちらかといえば、なりたい」と答えた小学生は93.7%、中学生は94.1%で、いずれも90%を超えており、ともに全国とほぼ同じです。

図2-8 人の役に立つ人間になりたいか

Q. 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



資料:文部科学省「全国学力・学習状況調査」

●学校のきまり・規則を守っている子どもは90%以上。

学校のきまり・規則を「守っている」「どちらかといえば、守っている」小学生は91.0%、中学生は95.2%で、ともに22年度より高くなっています。

図2-9 校則について

Q. 学校のきまり・規則を守っていますか。

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



資料:文部科学省「全国学力・学習状況調査」

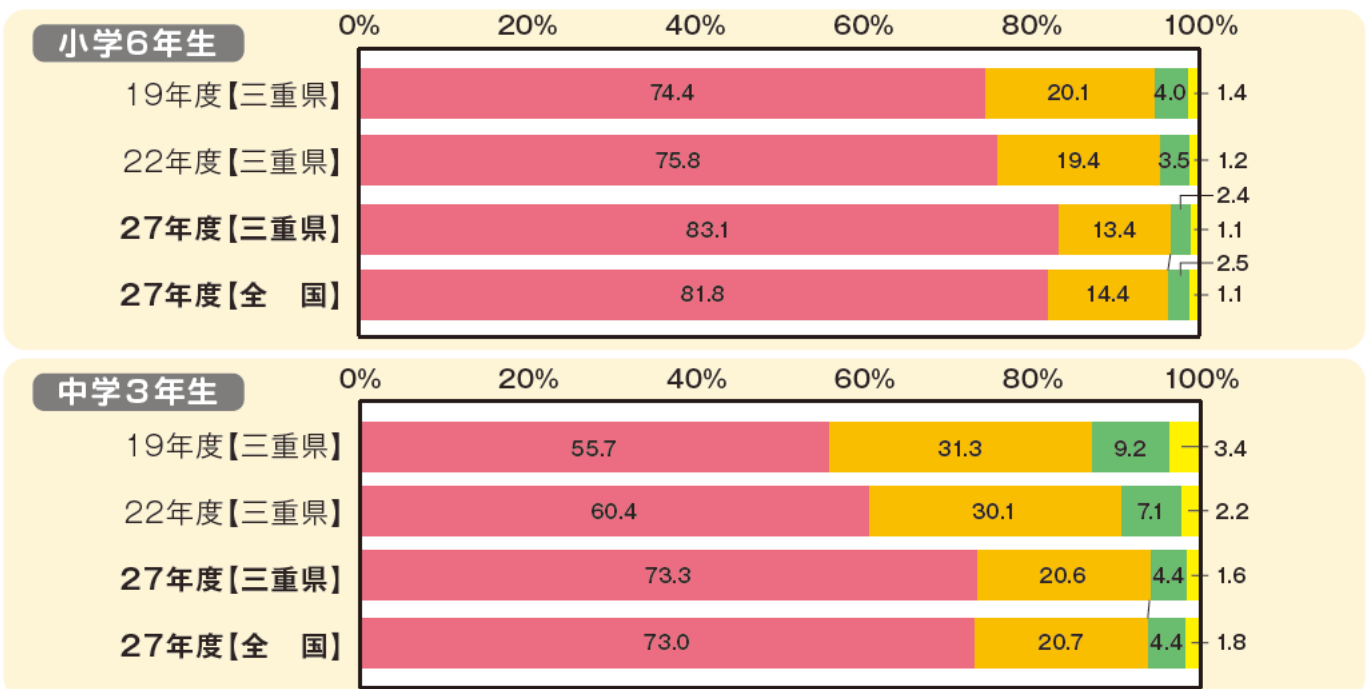
●90%以上の子どもがいじめはいけないことだと思っている。

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思「思う」「どちらかといえば、思う」と答えた小学生は96.5%、中学生は93.9%で、いずれも90%を超えており、ともに全国とほぼ同じです。

図2-10 いじめについて

Q. いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



資料:文部科学省「全国学力・学習状況調査」

(1) 子どもの悩みと相談相手

- つらい気持ちになるときは、小学生は「友だちと仲良くできないとき」、中学生・高校生は「テストの点や成績が悪いとき」が上位を占めている。

「つらい気持ちになるのはどんなときか」の質問に対して、最も割合が高くなっているのは、小学生は「友だちと仲良くできないとき」で49.7%、中学生・高校生は「テストの点や成績が悪いとき」でそれぞれ66.8%、54.3%となっています。

また、「つらい気持ちになったときに、どうしますか」という質問に対して、「自分でなんとかしようとする」と答えた割合は小学生は24.0%、中学生は30.7%、高校生は33.7%、「がまんする」が小学生は21.3%、中学生は17.7%、高校生は16.4%となっています。

図2-11 つらい気持ちになるとき

Q. あなたがつらい気持ちになるのはどんなときですか。(複数回答・いくつでも)

項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	27年度	23年度	27年度	23年度	27年度	23年度
家の人と仲良くできないとき	28.4	③39.3	③25.7	28.4	19.4	31.9
友だちと仲良くできないとき	①49.7	①64.8	②57.2	②62.9	②52.9	①61.4
授業がよくわからないとき	23.5	34.5	24.5	③34.4	18.7	27.1
テストの点や成績が悪いとき	②45.6	②55.5	①66.8	①65.9	①54.3	②50.2
受験や進路のことでうまくいかないとき	10.0	11.3	18.8	27.6	③29.1	③40.7
自分の意見が聞いてもらえないとき	27.4	32.1	24.7	22.8	20.8	28.1
クラブ活動の練習などがきびしいとき	10.4	13.3	24.1	27.2	21.3	19.4
いじめられたとき	③34.6	—	21.5	—	12.9	—
その他	5.0	8.2	5.0	2.8	6.1	6.3
つらい気持ちになったことはない	6.5	4.0	5.9	2.9	4.3	3.4

資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

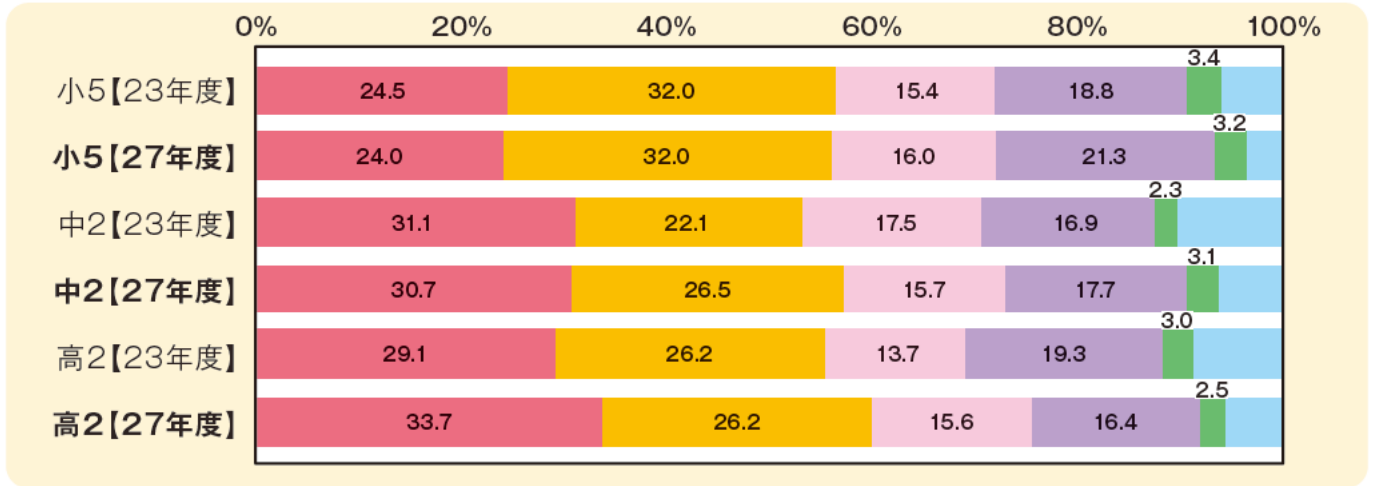
注：①②③の項目は今回・前回それぞれの上位3位を表す。

注：前回の質問に「いじめられたとき」の選択項目はありません。

図2-12 つらい気持ちになったときの行動

Q. つらい気持ちになったときに、あなたはどのようにしますか。

■ 自分でなんとかしようとする ■ だれかに相談する ■ 気にしない ■ がまんする ■ その他 ■ 無回答



資料:「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

●**悩みの相談相手は、小学生は「親(保護者)」、中学生と高校生は「友だち」が最も多い。**

「困ったことや悩みがあったとき、だれに相談しますか」という質問に対して、小学生は「親(保護者)」と答えた割合が71.7%で、最も高くなっています。

一方、中学生・高校生は「友だち」と答えた割合がそれぞれ64.9%、70.9%と最も高くなっています。

図2-13 悩みの相談相手

Q. あなたは、困ったことや悩みがあったとき、だれに相談しますか、あるいはしようと思いますか。
(複数回答・いくつでも)

項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	27年度	23年度	27年度	23年度	27年度	23年度
親(保護者)	①71.7	①70.8	②52.5	②55.8	②48.7	②50.2
兄弟姉妹	③21.1	③22.9	15.9	③18.7	15.5	③20.0
おじいさん、おばあさん	13.9	18.3	7.4	6.6	3.6	4.9
親せき	3.6	—	3.0	—	1.1	—
友だち	②46.1	②58.9	①64.9	①67.0	①70.9	①70.2
学校の先生	③21.1	19.1	16.4	12.7	9.3	12.7
児童福祉施設の先生・スタッフ	0.6	0.1	0.5	0.4	0.0	0.3
学童保育や児童館のスタッフ	0.6	0.3	—	0.4	—	0.3
フリースクールのスタッフ	0.2	0.0	0.4	0.2	0.0	0.4
塾や習い事の先生、スポーツクラブのコーチ	4.3	4.7	4.8	4.6	1.3	2.9
近所の知りあいの人	1.9	1.0	1.2	0.7	0.5	1.1
専門の相談機関(病院や児童相談所など)	0.6	0.8	0.7	0.6	0.6	0.6
電話での相談	1.2	0.7	0.9	1.0	1.0	1.0
インターネットでの相談	0.6	1.6	3.4	3.8	3.2	4.7
その他	1.5	1.9	1.4	1.5	1.6	3.2
誰にも相談しない	13.7	11.9	③19.3	11.8	③17.0	10.6

資料:「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

注: 前回の質問に「親せき」の選択項目はありません。

注: 今回の中学2年生と高校2年生の質問に「学童保育や児童館のスタッフ」の選択項目はありません。

注: ①.②.③の項目は今回・前回それぞれの上位3位を表す。